

## 目次

|                  |    |
|------------------|----|
| 第1編 業界展望         | 47 |
| 統計でみる冷凍食品        | 49 |
| 2019年の冷凍食品業界動向   | 52 |
| 有力冷凍食品メーカーの『いま』  | 57 |
| メーカーの冷食ランキング     | 64 |
| 問屋の冷食取扱ランキング     | 65 |
| 冷凍食品メーカーの海外動向    | 68 |
| ※冷凍食品の条件とは何か(定義) | 70 |

## 《安全と安心》を迅速にお客様のもとへ。

お客様への品質・温度・衛生の管理等「安全・安心」を実現するためには、物流(ロジスティクス)は業界にとって重要な経営のテーマのひとつ。

大京食品総合物流センターは、安全性・効率性に優れた設備、システム環境、きめ細かなサービスでお客様のニーズに的確にお応えします。

### ■ 大京の4つのポイント

情報・サービス等  
お客様に  
提案型営業を  
推進しています。

企画室にてメニューの  
提案・試作・商品の  
開発をしています。

品質・衛生管理体制の  
物流センター  
配送システムは  
万全です。

商品アイテムが  
豊富です。



### ----- フードビジネスのパートナー -----

大歓迎/当社に製品を売りたい方、買いたい方、当社で働いてみたい方

ひろがる食文化をリードする。

# DAIKYO

業務用食材のバイオニア



## 大京食品株式会社

代表取締役社長 窪田洋一郎

本社 / 〒104-0033 東京都中央区新川1-9-4  
TEL 03(3206)9211(代) FAX 03(3206)6946  
横浜営業所 / 〒221-0043 横浜市神奈川区新町300番地  
TEL 045(451)5521 FAX 045(451)5287

<http://www.daiyo-shokuhin.co.jp>



冷凍商品ピッキング作業場  
冷凍商品は、最新設備の垂直で、冷凍庫(マイナス25℃)の自動ラックの品別順番に入庫。ピッキング作業は足温冷蔵庫(1℃)で「安全・正確・迅速」に音声ピッキングシステムを使った作業システムになっています。

目 次

|      |                       |     |     |              |     |
|------|-----------------------|-----|-----|--------------|-----|
| 第2編  | メーカー                  | 71  | 第7編 | 関係団体         | 373 |
| 第3編  | 問屋・商社                 | 175 | 第8編 | 日本冷凍食品協会会員名簿 | 395 |
| 第4編  | 運輸・保管                 | 293 | 第9編 | 関係団体会員名簿     | 415 |
| 第5編  | 機器・設備                 | 311 |     |              |     |
| 第6編  | 原料・資材                 | 351 |     |              |     |
| 第10編 | 資 料                   | 457 |     |              |     |
| ●    | 冷凍食品の国内生産と消費          | 459 |     |              |     |
| ●    | 平成30年外食産業市場規模推計値      | 460 |     |              |     |
| ●    | 平成28～30年の外食産業市場規模推計値  | 462 |     |              |     |
| ●    | 冷凍めん生産量の推移            | 463 |     |              |     |
| ●    | 冷食関係の主な企業提携・合併の動き(海外) | 464 |     |              |     |
| 索 引  |                       | 475 |     |              |     |
| 広告索引 |                       | 484 |     |              |     |

# キンセイ食品株式会社

代表取締役社長 加藤 貴司

〒236-0004 横浜市金沢区福浦2-1-6

TEL045-701-1555

FAX045-701-1504

<http://kinsei-s.com>

## 統計でみる冷凍食品

日本冷凍食品協会が毎年発表する「冷凍食品に関連する諸統計」をベースに、冷凍食品業界の全体像を解説する。統計は、同協会の前身、冷凍食品普及協会時代の昭和34年から実施している。

### 平成30年の冷凍食品生産量 159万t

日本冷凍食品協会の調査によれば、平成30年（1～12月）の冷凍食品国内生産は数量が159万t（前年比99.2%）、金額（工場出荷額）は7154億円（99.8%）と横ばいだった。数量は10年前に比べると4.8%の増加、5年前に対しては7.9%の増加となった。金額は10年前との比較では7.4%増加、5年前に対しては5.6%の増加となった。

生産数量は統計がスタートした昭和34年以降、毎年右肩上がり急速に伸びてきたが、平成11年から縮小と拡大を繰り返し、18年の154万5200tがそれまでの過去最多。20年の天洋食品事件で21～22年は130万t台に落ち込み、23～24年に140万t台に回復、テレビのバラエティ番組で頻繁に取り上げられたこともあり、25年は155万tと過去最多を更新。さらに28年、29年と過去最多を2年連続で更新した。

### 生産は444工場、前年比22工場減

国内の冷凍食品生産工場は、30年実績で444工場。前年比で22工場減少した。

国内の生産工場数は、10年前の平成20年と比べると39.3%（287工場）の減少、5年前の平成25年に対して13.5%（69工場）の減少となっている。

### 調理食品が生産量の89.0%占める

平成30年の国内冷蔵生産の品目別構成比を見ると、大分類では調理食品の割合が89.0%と最も大きく、このうちフライ類が22.5%、フライ類以外が66.5%。調理食品に次ぐ農産物は4.5%を占め、以下、菓子類3.1%、水産物3.0%、畜産物0.4%という構成。これらを前年と比べると、水産物が6.7%減少し、天候不良の影響で農産物も8.8%減少した。大半を占める調理食品は横ばいだった。

小分類の品目で前年に対して増加したのは、うどん（4,575t増、102.7%）、ギョウザ（3,784t増、105.1%）、ラーメン類（3,755t増、106.4%）など。

減少したのは卵製品（6,289t減、86.4%）、パン・パン生地（3,885t減、82.1%）、コロケ（3,541t減、98.0%）など（「うち～、その他の～」を除く）。

### 1kg当たりの金額451円、前年比3円増

生産額を生産量で割った1kg当りの金額は冷凍食品全体で451円。前年に比べて3円上昇した。

大分類の品目別では、水産物は921円、農産物は317円、畜産物は537円、調理食品は432円、菓子類は724円。調理食品のうちフライ類は513円、フライ類以外は404円。

小分類の品目の中で1kg当たりの金額が最も高かったのは、貝類（1368円）、次いでえびフライ（1070円）、天ぷら・かき揚げ（840円）。一方、最も安かったのは、うどん（152円）、にんじん（171円）、ポテト（212円）の順。

冷凍食品全体の1kg当たりの金額は、平

## アイケイ食品(株)

〔本社〕 ☎332-0003 埼玉県川口市東領家2-34-8  
 ☎048-225-0026 FAX224-8367  
 〔ホームページ〕 <http://aikeifood.jp>  
 〔Eメール〕 [h-kiyohara@ikei.co.jp](mailto:h-kiyohara@ikei.co.jp)  
 〔事業内容〕 冷凍食品製造・販売  
 〔創業〕 昭和47年10月  
 〔資本金〕 1,000万円  
 〔主要取引銀行〕 日本政策金融公庫さいたま支店  
 みずほ銀行尾久支店  
 〔年商〕 5億5,000万円(28年9月期)  
 5億7,000万円(29年9月期)  
 6億1,000万円(30年9月期)  
 〔従業員〕 26人  
 〔役員〕 代表取締役 清原大  
 〔冷食事業開始〕 昭和48年5月  
 〔冷食売上げ〕 6億1,000万円(30年9月期)  
 〔ブランド名〕 アイケイ  
 〔売上げに占める輸入冷食比率〕 0%  
 〔主要製品〕 中華ちまき、おこわ、芋ようかん  
 〔販売ルート〕 市販用60%・業務用40%  
 〔本社担当部署〕 生産：坂本昌幸  
 〔原料買入先〕 木徳神糧、ミヤコ化学、東海澱粉、他  
 〔取引先問屋〕 シュガーレディ本社、東都生協、サトー商會、他  
 〔配送委託先〕 キューソー物流、石井商事運輸、他  
 〔冷食事業の基本方針〕 ISO22000を基本とし、食の安心と安全  
 〔生産拠点〕 ▶(本社所在地に同じ) 守屋正吾  
 (もち米加工1ト/月)

## 愛 麵 (株)

〔本社〕 ☎791-8036 愛媛県松山市高岡町81-1  
 ☎089-972-8100 FAX972-8200  
 〔ホームページ〕 <http://www.aimen.jp/>  
 〔事業内容〕 製麺業  
 〔創業〕 昭和49年  
 〔資本金〕 1,000万円  
 〔主要取引銀行〕 伊予銀行本店 愛媛銀行空港通支店  
 〔年商〕 13億0,890万円(28年1月期)  
 14億1,567万円(29年1月期)  
 15億8,241万円(30年1月期)  
 〔従業員〕 150人  
 〔役員〕 代表取締役社長 平田丈治/取締役専務

平田啓恵/取締役部長 平田裕二  
 〔冷食事業開始〕 昭和54年  
 〔冷食売上げ〕 600万円(30年1月期)  
 〔売上げに占める輸入冷食比率〕 0%  
 〔主要製品〕 冷凍うどん  
 〔販売ルート〕 業務用100%

## (株) 秋川牧園

〔本社〕 ☎753-0303 山口市仁保下郷10317  
 ☎083-929-0295 FAX929-1313  
 〔ホームページ〕 <http://www.akikawabokuen.com/>  
 〔事業内容〕 食肉47%、冷凍食品31%、鶏卵13%、牛乳2%、他7%  
 〔創業〕 昭和47年5月  
 〔資本金〕 7億1,415万円  
 〔主要取引銀行〕 山口銀行 三菱UFJ銀行 みずほ銀行 三井住友銀行  
 〔年商〕 53億9,924万円(29年3月期)  
 54億9,883万円(30年3月期)  
 56億2,329万円(31年3月期)  
 〔従業員〕 269人  
 〔役員〕 代表取締役社長 秋川正/代表取締役会長 秋川実/取締役 甲斐利光、田村次郎  
 〔冷食事業開始〕 昭和54年  
 〔冷食売上げ〕 14億2,525万円(1,008ト、31年3月期)  
 〔売上げに占める輸入冷食比率〕 0%  
 〔主要製品〕 鶏肉、冷凍食品、鶏卵、スープ、乳製品、食肉  
 〔販売ルート〕 市販用100%  
 〔本社担当部署〕 生産：製造部 河村洋亮工場長  
 ☎083-929-0364 / 販売・物流：営業部 甲斐利光取締役部長 ☎083-929-0841  
 〔原料買入先〕 伊藤忠飼料(株)(飼料、ヒナ)  
 〔取引先問屋〕 生活クラブ生協、グリーンコープ連合、オイシックス・ラ・大地(株)  
 〔配送委託先〕 KRS、レインボー物流、ランテック等  
 〔冷食事業の基本方針〕 当社は、従来から価格重視型の大量生産とは異なる、化学肥料・抗生物質等の薬物・化学添加物に頼らない健康安全な、若どり(ブロイラー)・牛豚・野菜等を自ら生産し、これら自社で生産した原材料を主とし冷凍食品を製造販売  
 〔販売拠点〕 ▶本社営業部 ☎753-0303 山口市仁保下郷10317 ☎083-929-0841  
 甲斐利光取締役営業部長  
 〔生産拠点〕 ▶本社工場 ☎753-0303 山口市仁保

## (株)アイガー

[本社] ☎613-0035 京都府久世郡久御山町下津屋  
北野11-1 ☎0774-43-4188～9 FAX43-4963

[東京本部] ☎104-0032 東京都中央区八丁堀

2-6-1 日本生命東八重洲ビル5階

☎03-3523-8755 FAX3523-8757

[ホームページ] <http://www.eigercorp.com>

[Eメール] [info@eigercorp.com](mailto:info@eigercorp.com)

[事業内容] 輸入商社

[創業] 昭和45年10月

[資本金] 9,500万円

[主要取引銀行] 三菱UFJ銀行新富町支店 みずほ  
銀行伏見支店 りそな銀行京都支店

[年商] 113億円(28年9月期)

132億円(29年9月期)

139億5,079万円(30年9月期)

[従業員] 90人

[役員] 代表取締役社長 高橋史郎

[冷食事業開始] 昭和46年7月

[冷食売上げ] 139億5,079万円(30年9月期)

[取扱メーカー] 自社ブランド・アイガー

[売上げに占める輸入冷食比率] 100% (市販20%,  
業務80%)

[主要製品] 鶏肉, 凍菜, アイス, 調理食品, 海老

[販売ルート] 市販用20%・業務用80%

[原料買入先] PERDIGAC, EMERALD, 青島集団股分,  
康盛食品, (株)極洋

[取引先問屋] (株)プレナス, 日清医療食品(株), 米久(株),  
三菱食品(株), ケイ低温フーズ(株)

[配送体制] 委託先=神戸海産運輸

[冷食事業の基本方針] 海外加工品を中心に営業を  
目指す。直輸入90%。

[今後の計画] 冷凍食品(調理冷凍食品・冷凍野菜)  
に力を入れていく

[販売拠点]

▶東京営業所(東京本部に同じ) 北野常務兼務

▶札幌営業所 ☎060-0007 札幌市中央区北七条西  
13-9-1 塚本ビル4F ☎011-251-8787 岸本所長

▶西日本営業所 ☎613-0035 京都府久世郡久御  
山町下津屋北野33-1 ☎0774-41-2350 松元所長

## (株)アイスライン

[本社] ☎700-0941 岡山市北区青江2-4-6

☎086-224-5235 FAX232-3316

[ホームページ] <http://www.iceline.co.jp/>

[創業] 明治38年1月

[資本金] 7,400万円

[主要取引銀行] 伊予銀行岡山支店 中国銀行岡山  
南支店

[年商] 48億2,596万円(29年1月期)

49億598万円(30年1月期)

48億665万円(31年1月期)

[従業員] 116人

[販売先] 業務用100% (その他の集団給食5%, 外  
食85%, 惣菜ルート5%, その他5%)

[役員] 代表取締役会長 石井秀明/代表取締役社  
長 石井希典/取締役 石井昭子 仙波則雄 西村  
喜久三郎

[冷食担当役員] 取締役 西村喜久三郎

[冷食事業開始] 昭和51年

[冷食の販売先] 業務用100%

[取扱メーカー] テーブルマーク, ニチレイ, 味の素

[配送体制] 冷凍車=4トン車1台, 2トン車25台/保冷  
車=2トン車2台, 0.75トン車25台

[冷食事業の基本方針] お客様に愛され信頼される  
良い会社, 社員が胸をはれる良い会社を皆で作る

[今後の計画] 新規開拓, 営業の教育と営業力強化  
[販売拠点]

食品事業部(本社に同じ) 取締役 西村喜久三郎

▶第一営業部 ☎086-232-3197 FAX224-1677

▶第二営業部 ☎086-233-3561 FAX223-9858

## (株)アオキ

[本社] ☎051-0011 北海道室蘭市中央町2-4-8

☎0143-24-1234 FAX22-3210

[Eメール] [info@aoki-zirushi.com](mailto:info@aoki-zirushi.com)

[創業] 明治35年5月

[資本金] 5,520万円

[主要取引銀行] 北洋銀行室蘭中央支店

[年商] 4億5,000万円(27年9月期)

3億5,000万円(28年9月期)

3億1,600万円(29年9月期)

[従業員] 10人

[販売先] 業務用100% (学校給食のみ)

[役員] 代表取締役社長 小塩良志子

[冷食事業開始] 昭和40年

[冷食の販売先] 業務用100%

[冷食売上げ] 2億5,000万円(29年9月期)

[取扱メーカー] Aoki印自社90%, アウトソーシング